

令和元年度 事業報告書

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

令和元年度 事業報告書

【概要】

平成30年7月豪雨を教訓に、新見市と災害ボランティアセンターの設置に関する協定や新見青年会議所と災害時相互支援協定を結ぶとともに、災害に強い地域づくり講座の開催など災害への対応に積極的に取り組んでまいりました。そうした中、令和元年9月3日には、市街地を中心とした集中豪雨により、甚大な被害が発生しました。本会では、直ちに災害ボランティアセンターを設置し被災された方々の支援を2か月にわたって行うとともに、引き続きささえあいセンターに移行し12月末まで生活全般の支援を行ってまいりました。また、2月中旬からは、新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの事業や会議の縮小あるいは中止せざるを得ないという状況になり、事業推進に多大な支障が発生しました。このような状況の中ではありましたが、各方面からの支援と職員が一丸となって各業務に取り組み、事業計画に掲げた事業については概ね計画どおりの成果を上げることができました。

令和元年度は、第2次新見市地域福祉活動計画の最終年度にあたり、5年間の総合評価を行い、概ね適切に事業の執行ができていたという評価を受け、前計画を引き継いだ令和2年度から4年間の第3次新見市地域福祉活動計画を策定しました。

また、地域共生社会の実現に向けて、アウトリーチの徹底を図り、地域住民・各種団体や行政と協働した小地域ケア会議の開催や福祉連絡会、地区社協の活動などを通じて、様々な地域福祉課題解決に向けて積極的に取り組み、生活支援体制の整備を推進してまいりました。その結果、熊野地域及び唐松地域で地区社協機能を統合したまちづくり協議会が設立されるとともに、他の地域においても、地域課題解決に向けた住民主体の活動が行われています。

判断能力が不十分な高齢者や障がい者の権利と財産を守る法人後見・権利擁護推進事業では、新見市からの委託事業として6月に新見市成年後見相談センターを開所するとともに、法人後見事業やいみ権利擁護推進大会を開催するなど、成年後見制度の普及・啓発と相談の充実を図ってまいりました。

また、あらゆる生活課題の相談に応じる新見市生活相談支援センターでは、生活困窮者に対する緊急支援やフードドライブ事業に引き続き取り組むとともに、様々な相談に対して、きめ細やかな支援を行ってまいりました。

さらに市内全ての社会福祉法人10法人により新見市社会福祉法人連絡協議会を7月に設立し、制度の狭間の課題などに連携して取り組むこととしました。

介護保険事業は、年々介護収入が減額となりその経営は大変厳しいものがありますが、利用者の方の立場に立った質の高いサービスの提供に心がけてまいりました。

法人運営では、組織のガバナンスの強化や、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化を図るとともに、コンプライアンスの徹底に努めました。

法人運営事業

【理事会】

	開催期日	議長	署名監事	主な議案
1回	令和元年 5月29日	逸見 孝明	大本 正治	◇平成30年度事業報告・決算 ◇役員候補者の推薦 ◇評議員候補者の推薦 ◇評議員選任・解任委員会の委員の選任 ◇定時評議員会の開催 ◇（報告）会長・常務理事職務執行状況
2回	令和元年 6月21日	逸見 孝明	大本 正治 山本 一夫	・みなし決議 ◇会長・副会長・常務理事の選任
3回	令和元年 8月27日	逸見 孝明	大本 正治 山本 一夫	・みなし決議 ◇苦情解決第三者委員の選任

4回	令和元年 12月17日	逸見 孝明	大本 正治 山本 一夫	◇資金収支補正予算（第1号） ◇理事候補者の推薦 ◇評議員会の開催 ◇（報告）会長・常務理事職務執行状況 ◇（報告）災害ボランティアセンターの活動報告 ◇予備費の充当
5回	令和2年 2月14日	逸見 孝明	大本 正治 山本 一夫	・みなし決議 ◇評議員候補者の推薦
6回	令和2年 3月17日	逸見 孝明	大本 正治	◇資金収支補正予算（第2号） ◇規程の一部改正（6規程） ◇令和2年度事業計画・資金収支予算 ◇評議員会の開催 ◇（報告）第3次新見市地域福祉活動計画 外2件

【 評議員会 】

	開催期日	議長	署名評議員	主な議案
1回	令和元年 6月21日	前田 五郎	林 節子 森田 寿	◇平成30年度事業報告・決算 ◇理事・監事の選任について
2回	令和元年 12月24日	渡邊 睦也	林 裕司 山形 勝江	◇資金収支補正予算（第1号） ◇理事の選任について
3回	令和2年 3月24日	乗本 進	小林 則子 笹田 礼子	◇資金収支補正予算（第2号） ◇令和2年度事業計画・資金収支予算 ◇（報告）第3次新見市地域福祉活動計画外1件

【 各種委員会 】

地域福祉活動基金運営委員会		設置 平成17年10月1日
委員構成（6人）	◇社協理事5人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇地域福祉活動基金の管理運営及び基金による事業の実施についての審議を行う。	
開催状況	期 日：令和元年12月17日（火） 5人出席 協議内容：令和元年度基金利息運用状況について 令和2年度利息の運用・国債の利息活用について	

評議員選任・解任委員会		設置 平成29年3月29日
委員構成（5人）	◇外部委員5人	
内 容	◇評議員の選任・解任の審議を行う。	
開催状況	①期 日：令和元年6月10日（月） 5人出席 ①協議内容：委員長の選出について ：評議員（1人）の選任について ②期 日：令和2年2月20日（木） 5人出席 ②協議内容：評議員（6人）の選任について	

事業評価委員会		設置 平成23年12月22日
委員構成（6人）	◇社協理事3人 ◇社協評議員1人 ◇社協監事1人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇事業の進捗状況を把握し、評価を行う。	
開催状況	期 日：令和2年1月20日（月） 5人出席 協議内容：5年間の事業評価（35事業）について	

【 寄附金 】

内 訳	件数 (件)	寄附額 (円)
香典返し寄附金	168	3,350,000
退院内祝い寄附金	10	170,000
一般寄附・その他	25	319,460
合 計	203	3,839,460

【 会員会費 】

◇地域住民、団体等が会員となり、福祉意識の高揚と住民主体の活動推進を図ることを目的とする。

会員の種類	会員数 (口)	納入額 (円)	普通会員の加入状況	
普通会員	7,992	7,631,000	依頼世帯	9,770世帯
賛助会員	49	147,000	加入世帯	7,992世帯
特別会員	219	1,205,000	加入率	81.8%
計	8,260	8,983,000		

【基金運営事業】 (令和元年度 運用実績)

収入内訳	利 息 等	備 考
定期預金等利息	287,841円	内) 150,000円 (国債利息)
国債売却益	3,370,616円	(6/1売却) 額面1億円
国債取得に伴う差益	745,864円	(11/1取得) 額面1億円
基金運用益合計	4,404,321円	

(支出項目) 福祉委員設置活動推進、心配ごと相談、友愛訪問事業に充当。

第3次新見市地域福祉活動計画策定委員会	
委員構成 (18人)	◇市議会の議員1人◇学識経験を有する者1人◇関係団体の代表13人 ◇関係行政機関1人◇市の職員2人
内 容	◇第3次新見市地域福祉活動計画の策定に関し必要な事項について協議を行う。
開催状況	<p>第1回 期 日：令和元年8月27日 (火) 17人出席 協議内容：委員長・副委員長の選出について、活動計画の概要について、アンケート・ワークショップの実施について</p> <p>第2回 期 日：令和2年1月30日 (木) 16人出席 協議内容：第2次計画の評価、第3次計画骨子 (案) についての検討</p> <p>第3回 期 日：令和2年3月2日 (月) 12人出席 協議内容：第3次計画素案についての検討</p>

地域福祉事業

1. 福祉の心を育てよう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
赤い羽根 共同募金運動	◇戸別募金・職域募金・学校募金等	10/1～12/31
	◇街頭募金	10/1 サンパーク新見、10/19～20 A コープ あしん駐車場 ボランティア延べ30人参加
	◇イベント募金	市内各地のイベント会場にて延べ6日間実施
赤い羽根 共同募金 配分金事業	◇大口募金の推進	社協役員・評議員で全域において普及推進
	◇一般配分金 ・地域福祉活動推進、福祉教育推進 ・研修、子育て支援、給食サービス、 団体活動助成の各事業に充当	
歳末 たすけあい 募金運動	◇戸別募金	12/1～31
歳末 たすけあい 配分金事業	◇歳末たすけあい訪問 ①満80歳以上の高齢者のみの世帯 ②重度心身障がい者 ③準要保護児童・生徒のいる世帯 ④75～79歳のひとり暮らし高齢者 ⑤生活に困窮している世帯 ※②④⑤は市県民税非課税者	1,248世帯 ① 1,163世帯 ② 23世帯 ③ 47世帯 ④ 15世帯 ⑤ 0世帯
	◇学校等への図書カード配布	認定こども園、保育所、小中学校等 38校
ご近所づきあい プロジェクト	◇近所づきあいの現状等に関する記事を 広報誌に掲載	社協だより 88号、90号、91号
ボランティア 入門講座	◇小学校出前福祉教室 ・高齢者疑似体験、車いす体験、ちょ ボラ説明等	新砥小、野馳小、千屋小、井倉小、矢神小、 高尾小、本郷小、思誠小(8校)
ボランティア 専門講座	◇手話奉仕員養成講座(入門課程) ・実施回数18回(18日間) ・受講者14人、修了者3人	5/18～11/23 地域福祉センター 参加者延べ124人
	◇災害に強い地域づくり講座 ・基礎編 ・災害ボランティアリーダー養成(図上編) 〃 (実践編)	6/30 まなび広場小ホール 参加者199人 ※9月豪雨災害により中止 〃
	◇平成30年7月豪雨災害パネル展示 ・パネル(35枚)・被害状況報告書	6/25～6/30 まなび広場小ホール 7/1～7/31 新見市地域福祉センター
	◇手話サークルの活動支援 ・小学校での出前手話講座の開催	7/8 高尾小学校、1/9 井倉小学校
私にもでき ること運動 (第8回)	◇小学生ちょボラ実践 ・ちょボラノートによる活動実施	487人中430人実践 継続取組校16校、新規1校(思誠小)
	◇活動報告書(福祉だより)の作成・配 布	各小学校

夏のボランティア体験 (第25回)	◇中高生ボランティア体験 ・福祉施設等でボランティア活動	7～8月 市内24施設 参加者150人 活動日数延べ464日
	◇事前研修会 (事前学習・活動の注意事項等)	7/13 地域福祉センター、7/18 哲多中学校、 7/19 おおさ総合センター、7/22 哲西中学校 合計参加者142人
	◇事後研修会 (事後学習・活動の振り返り等)	豪雨災害のため中止し、各学校でふりかえりの会を実施していただく。
	◇学校・受入施設との連絡会議等 学校、受入施設担当者連絡会議 (体験プログラム見直し)	5/29 地域福祉センター 合計参加者 24人
	◇活動報告書(夏ボラ新聞)の作成・配布	福祉施設、学校、教育委員会等
ボランティア登録制度	◇新見市ふれあいボランティア登録 ・託児ボラ希望8人、傾聴ボラ希望10人、災害時活動希望10人	登録者18人
傾聴ボランティア	◇傾聴ボランティア訪問 ・3件、延べ16回訪問	個人宅 活動ボランティア数2人
災害ボランティア	◇災害ボランティアセンター活動状況 宅地、家屋への流入した土砂、ごみの撤去、家財搬出、片付け等 ・依頼件数278件、活動件数416件 ・ボランティア活動者 延べ2,254人 ・支援物資(宅配、持込)231件 ・運営支援 (8団体他) ・車両支援 (6団体他) ・炊出し支援 (7団体他) ◇災害ささえあいセンター活動状況 地域住民、新見市、民生委員等との連携支援の実施。 ・支援が必要になると思われる人への訪問、ニーズ調査(38件)、支援活動	※市内降雨状況(新見観測局) 9/3(火)17:10 降雨始まり 9/3(火)19:50 降雨終わり 降雨時間2時間40分 累計雨量165ミリ ◇新見市災害ボランティアセンター 設置:9/4(水)午前11時 閉鎖:10/31(木) (運営体制) ①総務班 ②ニーズ受付班 ③ボランティア受付班 ④マッチング班 ⑤資材班 ⑥送迎班 ⑦駐車場班 ⑧救護・衛生班 ⑨現地調査班 ◇新見市ささえあいセンター 設置:11/1(金) 閉鎖:12/27(金) (運営体制)①総務班 ②災害ボランセン班 ③見守り班 ④地域支援班

2. とともに支えあおう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
ふれあい いきいきサロン (受託事業)	◇各地区でサロン実施 ・継続 87 サロン、新規 4 サロン、 ・休止等 4 サロン (自立 2、休会 2) 合計 87 サロン (新見 62、大佐 9、神郷 7、哲多 7、 哲西 2)	公民館・集会所等 開催回数延べ 757 回 参加者延べ 8,861 人 (うち 20 歳未満 43 人) 年度末合計 87 サロン
	◇ふれあいいきいきサロン情報交換会 ・市内全域を対象: サロンやカフェ等の活 動者同士の情報交換 29 サロン 50 人 ・草間地区 13 サロン 27 人 ・井倉地区 5 サロン 15 人 参加者数延べ 92 人(47 サロン)	2/6 市内全域 29 サロン(うち休会サロン 1 廃止サロン 1 ひだまりサロン 2)、カフェ 1 (1 人)、一般 2 人 50 人 6/21 草間地区 8/9 井倉地区
	◇げんき広場インストラクター派遣	公民館・集会所等 29 か所
	◇活動拠点整備費事業 ・1 カ所に助成	一次募集 0 サロン 二次募集 備品整備費 1 サロン
	◇活動・立上げ推進(随時) ◇パンフレット作成	
ひだまりサロン	◇サロン実施 ・継続 3 サロン	ほほえみ広場ほか 開催回数延べ 21 回 参加者延べ 148 人
地域子育て 支援事業	◇運営協議会・事務局会議等に参加 ◇地域子育て支援者研修会 ◇大佐地区子ども交流会 ・実施主体: 子育てクラブおおさ ・夏: 学習、調理実習、ペーパークラフト等 ・春: 感染症予防のため中止 ◇子どもがつなぐ地域の和事業	新見公立大学 11 回参加 新見公立大学 3 回参加 8/1 おおさ総合センター 参加者 27 人 実施希望地区なし
福祉委員設置 活動充実	◇福祉委員の設置(委嘱状交付)	748 地区 853 人に委嘱
	◇第1回 福祉連絡会(全地区対象) ・福祉委員の役割説明等	市内 35 会場 参加者延べ 729 人 全地区実施
	◇第2回 福祉連絡会(全地区対象) ・地域課題について	市内 18 会場 参加者延べ 390 人
	◇第3回 福祉連絡会 ・地域課題について、今年度まとめ等	市内 4 会場 参加者延べ 170 人
移送サービスの システムづくり	◇障害者移動支援(受託事業) ・福祉車両貸出(本所・大佐・神郷)	貸出回数 50 回
	◇送迎サービスシステムの研究 ・送迎サービス研修会(地区社協情報交 換会と併せて実施)	2/25 地域福祉センター 参加者 46 人
	◇送迎ボランティア等の活動支援 ・ボランティア団体・地区社協の送迎サー ビス事業への車両貸出(福祉ボランティア の会、刑部地域振興協議会、豊永福祉 ネットワーク) ◇その他ボランティア活動等への車両貸 出	貸出回数 45 回 貸出回数 9 回

独居高齢者宅戸別訪問事業(受託事業)	◇80歳以上独居高齢者世帯訪問支所別実績(月平均) 本所 310人、大佐 26人、神郷 36人 哲多 49人、哲西 38人	訪問回数延べ 5,509回 介護保険サービスを利用していない方が対象
友愛訪問事業	◇75歳以上ひとり暮らし高齢者世帯・80歳以上高齢者のみの世帯を対象に実施(地区別)新見 1,155人 3,464回 大佐 148人 443回、神郷 142人 426回 哲多 140人 420回、哲西 153人 459回 ◇友愛訪問事業説明会・研修会	各地区年 3回実施 訪問回数延べ 5,212回 8/6 地域福祉センター 参加者 57人
小地域福祉推進基礎組織支援	◇地区社協の活動助成 ◇地区社協の支援 ・地区社協情報交換会(2回実施) ・「地域福祉活動ガイドブック」配布 ・社協説明会(総代会後) ・地区民協への情報提供	41地区 地区担当による支援 7/30 地域福祉センター 参加者 48人 2/25 地域福祉センター 参加者 46人 地区総代会 18会場 13地区民協
	◇小地域福祉活動計画策定支援 【足立地区ふれあいデイ】 ・アンケート結果に基づく計画策定に向けてのワークショップの支援	3/1 足立会館 参加者 36人
地域包括ケアシステム・小地域ケア会議の推進	◇小地域ケア会議の開催 ・全 38地区中 32地区で実施	開催回数延べ 50回、参加者延べ 1,137人
	◇小地域ケア会議全体会	12/2 新見市役所南庁舎 参加者 100人

3. 福祉環境の充実に図ろう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
法律相談(受託事業)	◇弁護士による専門相談 ・毎月第3水曜日	新見市役所南庁舎 相談件数延べ 64件
心配ごと相談 よろず相談	◇民生委員児童委員による相談 ・本所 毎月第1・3水曜日 年 22回 ・大佐 年 6回 ・神郷 年 6回 ・哲多 年 11回 ・哲西 年 12回	地域福祉センター他 相談件数 13件 おおさ総合センター他 相談件数 1件 やまびこ広場他 相談件数 3件 哲多総合センター 相談件数 3件 きらめき広場・哲西 相談件数 4件
	◇よろず相談 ・随時相談受付	相談件数 67件
	◇なんでも相談会 年 1回 ・市内外の各専門家による相談会 ・空き家活用に関する法律講座(講師： 弁護士法人ゆずりは新見法律事務所 大山知康弁護士)	8/31 地域福祉センター 相談者 17件 ※2/29 は中止
日常生活自立支援事業(受託事業)	判断能力が不十分な方の書類手続及び 金銭管理支援 ・生活支援員(活動)7人(登録)3人 ・相談件数 94件、支援回数 813回	(利用者の内訳) 認知症高齢者 4人、知的障がい者 14人、精神障がい者 3人 計 21人(うち新規 2人)

<p>生活福祉資金貸付事業 (受託事業)</p>	<p>低所得・障がい者世帯等への資金貸付により、世帯の自立を図る ・相談件数 5 件</p>	<p>(相談の内訳)総合支援資金 0 件、福祉費(償還)2 件、緊急小口資金(新型コロナ)3 件 ・新規貸付 1 件(緊急小口資金新型コロナ) ・償還継続中 16 件(措置含む)</p>
<p>生活困窮者自立支援事業 (受託事業)</p>	<p>◇生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援 ・新規相談受付件数 28 件 延べ支援回数 583 回 ・自立相談支援プラン策定者 5 人 ・家計相談支援プラン策定者 2 人 ◇緊急支援(食料給付)38 件、(現金給付) 15 件 ◇フードドライブ事業の実施 ◇生活相談支援関係機関実務者連絡会議1回実施 ◇ささえあいの地域づくり研修会は中止</p>	<p>のべ 48 人に支援を行った。 40 人から 376 点の寄付 1/21 第1回連絡会 13 人参加 新型コロナウイルス感染予防の為</p>
<p>法人後見・権利擁護推進事業</p>	<p>◇法人後見事業 ・検討会議(関係機関・内部) ・法人後見運営委員会 ・権利擁護支援検討委員会 ・法人後見事業受任 6 件 (新規 5 件、継続 1 件) ◇成年後見制度利用相談 ・新見市成年後見相談センター開設 ・相談件数延 100 件 ・法人後見等移行支援 延べ 7 件 ◇成年後見制度・権利擁護の普及啓発 ・にいま権利擁護推進大会 ・成年後見制度出前講座 ・成年後見制度パンフレットの作成 ・社協だより掲載 ◇市民後見人養成講座受講 ・職員 4 人(内、2 人修了) ◇成年後見制度アンケートの実施</p>	<p>※H31・1/4 法人後見開始 8 回開催 6 回開催 1 回開催 専門職との複数後見 3 件、社協単独後見 3 件 新規の内、日援事業からの移行が 3 件 6/1 窓口設置 R 元年 4 月～R2 年 3 月 12/7 150 人参加。 3/25 哲西地区民協 13 人 法人後見事業 R 元・5 月、7 月、R2・3 月号 成年後見相談センター R 元・11 月号 ※津山市権利擁護センター主催 ふれあいいきいきサロン11サロン 141 人</p>
<p>第 1、2 層生活支援コーディネーター事業 (受託事業) (担当職員数) ・1層 2名 ・2層 4名</p>	<p>◇地域資源の把握・整理 ・生活支援サービスの把握 「にいま暮らしを支えるサービス一覧表」の作成 ・集いの場の把握・推進 「集いの場ガイドブック」作成 ・福祉連絡会、小地域ケア会議においてニーズ把握 ・小地域での取組紹介 「地域活動コレクション」の作成 ・ふれあいサロンでの生活支援に関するアンケート実施 ◇サービスの開発・マッチング ・小地域ケア会議(第 2 層協議体)において課題解決に向けての協議の実施 全 38 地区中 32 地区で実施</p>	<p>社協・市ホームページに掲載 市内 90 サロン 各種会議・研修会などで配布、更新 1 回 87 会場 12 地区 12 サロン 開催回数延べ 50 回、参加者延べ 1,137 人</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ把握(アンケート) ・見守り訪問活動 ・支え合い活動 ・基盤組織づくり ・支え合い活動推進、地域課題に基づく研修 ・広報紙で支え合い活動の周知 	<p>3 地区(西方地区、足立地区、足見地区)</p> <p>3 地区(正田地区、法曾地区、上市地区)</p> <p>3 地区(蚊家地区、熊野地区、豊永地区)</p> <p>3 地区(足立地区、唐松地区、熊野地区)</p> <p>4 地区(神郷地区、哲多地区、大井野地区、舞尾地区)</p> <p>2 地区(田治部地区、神郷南地区)</p>
	<p>◇関係者のネットワーク化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2層生活支援コーディネーター情報交換会 ・第2層生活支援コーディネーター研修会 ・社協第1、2層生活支援コーディネーター情報交換会 ・介護予防事業情報交換会 ・地域運営組織立ち上げに向けての支援地元説明会出席 ・地域運営組織設立に向けての協議 	<p>8/1 新見市役所 参加者 12 人</p> <p>4/16、6/4、7/3 新見市役所南庁舎ほか 参加者延べ 98 人</p> <p>4/22、5/16、6/17、8/23、11/7、12/20、2/17 参加者延べ 42 人</p> <p>11/7、1/8、3/13 新見市役所南庁舎ほか 5 会場(ふれあいセンター)</p> <p>福本地区、足立地区、千屋地区、草間地区、熊谷地区、田治部地区</p>
介護者の集い	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 笑いヨガ・お楽しみタイム ・第2回 iパット脳トレ・お楽しみタイム ・第3回 筆ペン遊び・お楽しみタイム ・各回とも、要介護家族一時預かり所「くつろぎの家」を併せて開催 	<p>7/6 神郷地域福祉センター 参加者 21 人</p> <p>11/9 神郷地域福祉センター 参加者 18 人</p> <p>2/22 神郷地域福祉センター 参加者 26 人</p> <p>くつろぎの家 参加者延べ 25 人</p>
社協だより・各種 広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◇社協だより発行 年6回 ◇随時HPを更新 ◇新聞・ケーブルテレビでの広報 	
イベント参加 による社協 PR	<ul style="list-style-type: none"> ◇哲多ふる里すずらんまつり ◇哲西健康福祉まつり ◇神郷ふるさとまつり ◇大佐ふるさとまつり 	<p>6/2 本郷小学校</p> <p>7/13 きらめき広場</p> <p>10/27 夢すき公園</p> <p>11/3 おおさ総合センター</p>

共同募金事業

【赤い羽根共同募金方法別実績】

募金方法	募金額	募金ボランティア数等
戸別募金	4,506,950円	851人
街頭募金	21,794円	30人
大口募金	1,115,000円	438人
紙箱募金	21,686円	14校1121人
職域募金	628,180円	1046人
イベント募金	231,098円	20人
店頭募金	70,023円	39ヶ所
自動販売機募金	34,327円	4ヶ所
その他の募金	56,720円	34件
預金利息	27円	
合計	6,685,805円	

目標額	5,100,000円
実績額	6,685,805円
達成率	131.1%

【歳末たすけあい募金方法別実績】

募金方法	募金額	募金ボランティア数
戸別募金	4,357,200円	842人
その他の募金	18,900円	
預金利息	3円	
合計	4,376,103円	842人

【歳末たすけあい募金配分金事業】

○募金運動期間：12月1日～12月31日

○民生委員の協力を得て、下記対象者へ1世帯あたり3,000円の訪問金を配布した。

訪問対象者	件数	配分額
ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯	1,163	3,489,000円
重度心身障がい者のいる世帯	23	69,000円
準要保護児童生徒のいる世帯	47	141,000円
75～79歳ひとり暮らし高齢者	15	45,000円
生活に困窮している世帯	0	0円
合計	1,248	3,744,000円

○市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校へ図書カードを配布した。

	中学校	配分金額	小学校	配分金額	幼稚園 保育所等	配分金額
本所	2校 496人	55,000円	9校 799人	101,000円	10園 571人	72,000円
大佐	1校 75人	10,000円	1校 103人	15,000円	1園 69人	10,000円
神郷			2校 78人	10,000円	2園 31人	6,000円
哲多	1校 70人	10,000円	3校 153人	18,000円	3園 77人	13,000円
哲西	1校 65人	10,000円	2校 91人	13,000円	1園 53人	10,000円
計	5校 706人	85,000円	17校1,224人	157,000円	17園 801人	111,000円
				配分合計	39校・園 2,731人	353,000円

介護保険事業

【 居宅介護支援事業 】

	延べ認定調査	延べ居宅サービス計画	延べ介護予防 居宅サービス計画
中央	65 件	1,496 件	141 件
神郷	34 件	1,072 件	123 件
計	99 件	2,568 件	264 件

【 訪問介護事業 】

	訪問介護		総合事業訪問介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	34.0 人	3,807 回	29.0 人	1,797 回
神郷	16.5 人	1,354 回	14.8 人	869 回
計	50.5 人	5,161 回	43.8 人	2,666 回

【 通所介護事業 】

	通所介護		総合事業通所介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	61 人	5,382 回	29 人	1,461 回
神郷	47 人	4,491 回	19 人	1,020 回
計	108 人	9,873 回	48 人	2,481 回

【 訪問入浴介護事業 】

	訪問入浴介護		介護予防訪問入浴介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	9 人	392 回	0 人	0 回

障害福祉サービス事業

【 居宅介護事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	4.0 人	247 回
神郷	2.4 人	263 回
計	6.4 人	510 回

【 障害者デイサービス事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	1 人	77 回

【 移動支援事業（個別支援） 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	0 人	0 回

在宅福祉事業

【 障害児入浴サービス事業 】

○18歳未満の身体障がい児の入浴サービス

施設名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
神郷ヘルプセンター	1人	20回

【 新見市社協高齢者等生活応援隊事業 】

○概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等支援が必要な方に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0人	0回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	0人	0回

【 新見市産後ヘルパー訪問事業 】 (受託事業)

○産後の体調不良により家事が困難な家庭等に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	1人	7回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	1人	7回

【 子育て支援ヘルパー訪問事業 】 (受託事業)

○児童の養育が困難で子育て支援が必要な家庭に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0人	0回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	0人	0回

団体活動支援

○各種機関との連絡調整、事業実施における支援を行い、団体の自立を推進した。

◇新見市老人クラブ連合会
◇新見市遺族連合会
◇新見市身体障害者福祉協会
◇新見市福祉ボランティアの会・神郷地域ボランティア協議会・哲西町ボランティア協議会

◇新見市社会福祉法人連絡協議会

新見市内の社会福祉法人10法人により新見市社会福祉法人連絡協議会を設立し、制度の狭間の課題などに連携して取り組む。

期 日		
7/18	設立総会	・規約制定 ・役員選出 ・事業計画 ・予算
	設立記念講演	・講師 美作大学特任教授 小坂田 稔 氏 60人
9/11	災害ボランティア活動	・新見市災害ボランティアセンター事業連携 12人 ・災害支援車両提供 4法人
12/7	研修後援	・にいみ権利擁護推進大会 主催 新見市社協
12/10	災害ささえあいセンター事業連携	・会員によるボランティア活動 2人
3/23	役員会	・令和元年度事業報告 収支決算
		・令和2年度事業計画 収支予算

ボランティア保険加入促進

種 類	加入件数	備 考
活 動 保 険	1, 2 5 7	加入年度に適用される保険
行 事 用 保 険	1 4 3	1行事のみ適用される保険
計	1, 4 0 0	

※上記のほか送迎サービス補償、福祉サービス総合補償などでボランティア活動を推進。

人材育成活動

○大学・高等学校、一般のホームヘルパー、介護福祉士、社会福祉士等の実習生を受け入れ、同行訪問等現場実習の指導を実施。